

狭山病院のERについて

理事長 石井暎禧

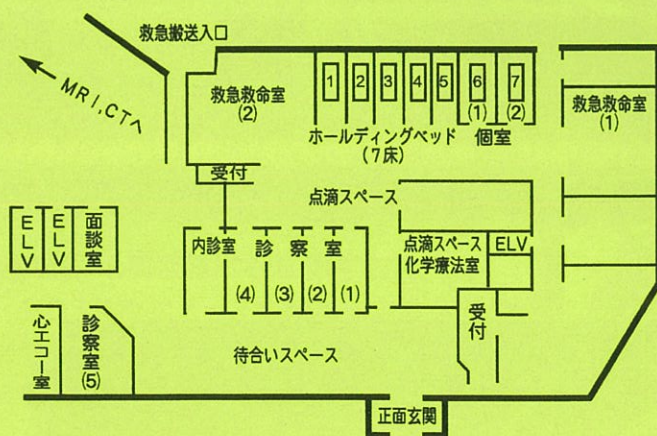
3月1日、狭山病院の外来部門が分離され、さやま総合クリニックがオープンしました。この分離は、外来部門のアメニティを改善することと同時に救急を中心とした病院本体の医療機能を強化する必要性から出発しました。

したがって、一般外来が移転した後の本館1階部分は、主として救急機能の充実の為に使用されます。この救急部門の工事は、今回の外来棟（さやま総合クリニック）建設から始まる、狭山病院の増改築計画の要と言えます。

石心会狭山病院は、一昨年以來、急速にはっきりしてきた病院再編の渦の中で、地域の基幹的な病院として急性期医療の機能をなお一層高める必要があります。そのため、救急医療をもっと強化することがどうしても必要です。これまで狭山病院では病棟が満床状態で救急患者の受け入れがスムーズに進まないことがしばしばありました。常々私が言っているようにこれでは地域の中核病院としての責任は果たせません。これらのことを念頭に、今回工事をはじめるに当たって

米国型の救急医療の実践でつとに名高い沖縄県立中部病院を医師2名を同行して見学し、大いに参考にさせていただきました。

さて、設計ですが、今回の改装においてはいつでも救急患者を受け入れられるようにするのが最大の眼目です。そのため、救急処置ベッド、ホールディングベッド（経過観察用ベッド）、



狭山病院ER配置図

本紙タイトル『海燕』は、M・ゴーリキーの散文詩《海燕の歌》（1901）に由来しています。

その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海。戸惑い騒ぐばかりの鳴らの群を尻目に、
海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

（編集部によるダイジェスト）

複数の診察室を一体のものとして考えました。1頁図でわかるとおり、ホールディングベッドは7床(うち2床は個室)を確保しました。待合ホールも緊急災害時には「病室」とすることが出来ます。さらに救急業務の動線の関係で救急入り口を裏側の中央に変更しました。ここが新しく救急および夜間出入り口となります。

これらの改装によって、多くの夜間救急患者を翌日まで救急室で治療・経過観察ができるようになります。空きベッドがないからと言って、無理に自宅に返す必要がなくなり、患者さん及びご家族に

おおいに安心感を与えることでしょう。人的態勢としては指導医・当直医・研修医と救急部専属の看護師がチームでこれら救急患者にあたる事を考えています。このチーム体制を充実させることが、救急機能を有効に稼働させられるかどうかの鍵を握ります。

1階部分の改装以外には、旧西棟を取り壊し、リハビリテーション病棟をつくります。これは急性期機能を強化するため、効率的に病床を稼働させ、リハビリテーション機能を充実させるための措置です。

☆グループの動き☆

●さやま総合クリニックがオープン



4階 透析室



和太鼓(上水野水栄太鼓)



正面玄関

2/23 オープニングセレモニーに地域から300人が来院。プロの奏者によるピアノと弦楽四重奏(ヘルシーコンサート)、ちびっ子たちの和太鼓(上水野水栄太鼓)が花をそえてくれました。

3/1 通院透析が開始されました。

3/22 一般外来診療が開始されました。

●PETセンター建設用地を取得

PETセンターの建設用地を法人において購入しました。場所は川崎市塚越4丁目345-8で面積は3,513.4㎡=1062.8坪、建物(3,176㎡=960坪)は本年11月に着工、平成17年4月完成予定となっています。

ここで行われる医療は癌総合健診をはじめとして三大成人病の健診、及び癌の手術後の転移等の検査となります。主な医療機械はサイクロロン1台、CT-PETカメラ2台(5)、MDCT1台、MRI1.5テスラ1台他となっています。 ※()内は最終台数

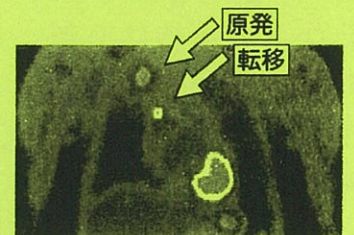
【解説】ポジトロンCT (PET) とは？

◆PET検査とは？

PET (Positron Emission Tomography) とは、日本語では「ポジトロン断層撮影法」と呼ばれ、全身や心臓、脳などの細胞の働きを断層画像で捉え、病気の原因や病巣、病状を的確に診断することができる、新しい検査方法です。CTスキャナーやMRIなど形態の断層像を得るものとは異なって、代謝活動などの生体機能つまり生命活動を画像化できる装置です。

検査には、ポジトロンと呼ばれる陽電子を放出する薬剤が使用されます。この薬剤を静脈から注射したり、呼吸によって体内に吸入します。この薬剤が体内を移動する様子を撮影するのですが、薬剤を選ぶことによって、ガン、心臓、脳などの診断がそれぞれ可能になります。

ポジトロンは、放射線を発生しますが、その寿命はきわめて短く、中には120秒で放射能の強さが半減するものもあります。このためポジトロンは基本的に院内に設置されたサイクロロンという装置で作られ、さらに酸素、水、糖分、アミノ酸などの化合物にポジトロンを組み込んだ薬剤(製剤)がつけられます。ちなみに、PET検査ではポジトロンを使用するため、わずかですが放射線被曝があります。しかし、人が地球上で普通に暮らしていて、大地からの放射線や宇宙線などから被曝する平均的な被曝線量とほぼ同じ。人体に対する危険な影響はありません。



PETで撮影された肺ガン

◆ガンの超早期発見にきわめて有効です。

PETを使用すれば、一回のスキャンで全身のガンのスクリーニングが可能です。検査時間は、わずか30分ほど。この短時間に、ガンの病巣の有無、そしてどこにあるのか、さらにその病巣の大きさを測定することができます。しかも、なんと直径5mmほどのガンも検出することができます。従来のCTやMRIによる検査に比べ、数十倍の精度を誇ります。PET検査は、ほとんどのガン、あるいは悪性リンパ腫、骨腫瘍、悪性黒色腫などの検査に有効です。

◆脳疾患、心臓疾患にも効果的です。

PET検査によって心臓の筋肉の血流が鮮明な画像として得ることができます。このため、より早い時期に心機能の低下を発見でき、心筋梗塞や狭心症などの予防に役立てることができます。また、脳疾患についても、脳血流の変化からアルツハイマー病の早期診断が可能になります。

◆健康診断以外の利用法としては以下のことができます。

①精密検査としてのガンの存在の確認、②病巣の広がり、ステージ診断(適切な治療法の選択に)、③治療効果の判定(化学療法、放射線治療等に)、④予後のケア(再発、転移の判断に)などあります。これらの多くは健康保険の対象となります。

【おことわり】

この記事は、名古屋共立病院・ポジトロンCT (PET) センターの許可を戴き、同病院のホームページよりの転載+アルファで構成させていただきました。

●川崎幸病院の移転新築決まる

川崎幸病院は今年開院30周年を迎えます。すでに建物はかなり老朽化して建替えが必要となってきましたがこのほど3月末に開かれた法人理事会および評議員会において平成19年度に新築移転し新病院を開業する方針が確認されました。4年後に設定された理由は用地の選定、設計などの準備に2年、工事に2年を要するためです。

計画の概要については、①現状の病床数(203床)で移転し、ICU、CCU、ホールディングルームを除き全室個室の病床とする。②場所は幸区内、③当初10,000㎡程度の建物を建築し、増築できるスペースを確保する。④建物は賃貸借で考える(狭山病院と同)。⑤現在の病院は売却せず、適当な時期に建替えて長期療養型の施設への転換を図る。

新病院の性格および、機能としては全ての病床を急性期病床とし、現在の脳血管センター、心臓血管センターを更に発展させ複数の専門医療特化型の病院をめざす。その意味で従来型の総合病院とは一線を画すものとする。外来については紹介外来、救急外来を主とし、特に救急外来については建物構造においても人的システムにおいても時代の一步先を行くERを立ち上げる。

当面本部において候補地の絞込み作業を進める。

以上が概要です。



辛夷



泰山木

●平成15年度の事業計画、収支予算について

平成15年度事業計画および収支予算が決定されました。既存の事業所のほかに「福祉用具レンタルさいわい」が4月から開業し、PETセンターが年内着工となっています。PETセンターの経営上の位置付けは、日本の経済が縮小していく中で健康保険の診療報酬単価もまた切り下げられていく可能性が高いため、自費収入部門を拡大し、中期計画のゴールである川崎幸病院の移転新築の経済基盤を確固たるものにしようというものです。もちろん、PETセンターが癌のスクリーニング等に強力な威力を発揮し、石心会の医療水準を高め、地域に貢献することは疑いもないことです。

〔医療法人財団石心会 平成15年度収支予算〕

収入合計	17,073,767千円
利益合計	671,772千円
付加価値労働配分率	66.1%



〔文化村から～その1〕

ヘルシーコンサート開催します

～さやま総合クリニック 青山院長インタビュー～

さやま総合クリニックでは、4月より「ヘルシーコンサート」と銘打ち、プロの奏者を招いた市民向けピアノコンサートを3階フロアで定期開催しています。コンサート総合プロデューサー青山院長におうかがいしました。

〔♥〕センセイ、ほんきに始まっちゃいましたね～。

〔青〕うん、はじまっても～たな。

〔♥〕まずは月並みですけど、なんて「クリニックに音楽」なんてしょう？

〔青〕そ～やなァ。「高い質の医療を身近に提供」、これがうちのクリニックのメインテーマやしキャッチフレーズ。ま、ヘルシーコンサートは、病気であってもなくても、地域の皆さんからウチを「身近な場」と感じて貰う第一歩、ちょっとカッコつければ、ささやかな「文化メセナ」ってとこやな。実際、音楽は人類の生んだ最高の芸術って言われてるし、上質の音楽を聴けばリラックスできて、治療のサポートにもなるしな。

〔♥〕それにしても、スタインウェイのグランドピアノ……ハリこんびゃいましたねェ。

〔青〕そやでェ。なんせあのユンディ・リーのサイン入り(注)やからなァ(笑)。

〔♥〕エエ、彼の自筆サイン入りですもんね。これは凄いな！ て、この凄いなピアノでナニ聞かしてくれはるのん？

〔青〕月3～4回、土曜日の診療終了後(午後2時半～)がコンサートタイムや。それでな、定例コンサートが6回分、特別コンサートも1回分スケジュール決まっとるで。

〔♥〕もちろん無料ですよね？

〔青〕当たり前や。

〔♥〕て、音楽のジャンルは？

〔青〕定例の方は、ま、クラシックのピアノ曲やな。特別の方は、あんまりジャンルにこだわらんと、いろんな楽器でやったら～思てるとこや。

〔♥〕青山プロデューサーの腕の見せ所！ 何だかワクワクしてきました。

「ヘルシーコンサート日程は次頁」



〔定例演奏会 日程〕 (さやま総合クリニック3フロビーにて午後2時30分より)

第1回	4月12日	「フランスで活躍した作曲家」	ピアニスト	片桐みどり
第2回	4月19日	「名ピアニストの音楽」	ピアニスト	鈴木まりえ
第3回	4月28日	「春を彩る名曲選」	ピアニスト	山田明里
第4回	5月10日	「フランスで活躍した作曲家2」	ピアニスト	片桐みどり
第5回	5月17日	「名ピアニストの音楽2」	ピアニスト	鈴木まりえ
第6回	5月24日	「春を彩る名曲選2」	ピアニスト	山田明里

〔特別コンサート ～スタインウェイ・ナイト～ 〕

第1回 6月14日 「暮れ彩」(さやま総合クリニック3フロビーにて午後6時30分より)
トニーズストリングスカルテット+1
(ヴァイolin)鎌田浩史・村井薫/ヴィオラ岩間俊也/チェロ清野佳子/ピアノ近藤昇)

(注)スタインウェイとユンディ・リー

スタインウェイ(正式にはスタインウェイ&サンズ)は、150年前にニューヨークで創業したピアノメーカー。演奏家用の最高峰と言われるピアノを、ニューヨークとドイツ・ハンブルグで作り続けているが、ヘルシーコンサートで使っているのはハンブルグ製。

ユンディ・リーは世界が注目する、今が旬の中国人ピアニスト。5年に一度だけワルシャワで開かれるピアニストの登竜門・ショパン国際ピアノ・コンクール、その第14回(2000年)優勝者。第11回にブーニンが優勝して以来、12回、13回は1位なしの状態、つまり15年ぶりの1位優勝だった。これだけでも、彼の天才ぶりが窺われる。彼が、受賞後の日本コンサートツアーの際、練習に使ったのが、さやま総合クリニック3階に鎮座しますグランドピアノ。ユンディは数ある中からこれを選び、相当気に入っていたという。その気に入りがピアノの内部に残された彼の自筆サインから窺われる。なお、このピアノは青山院長より貸与されたものです。



(文化村から～その2)

春はやっぱり櫻です

～西行「山家集」より

編集部

鉄腕アトムが誕生した2003年4月7日、月の都バクダッドは火の海、瓦礫の山でした。米軍の空爆、地上戦からバクダッド占領、占領下で横行する略奪と暴行。彼の地では未だ血腥い混乱がつづいているようです。血腥い戦さにはウンザリさせられます。遠く離れたイラクの民に1日も早く安寧が訪れることを祈りつつ、ここは一つ春の歌でも紹介することに致しましょう。

春と言えば花、花と言えば櫻、櫻と言えば、やはり西行です。なにしろ彼は櫻を詠んだ歌がとにかく多い。西行の熱心な研究家は、230首ほどもあると言っています。二番目が確か松だか梅だかで30首くらいですので、どれほどの多さか容易におわかりになるかと思います。

その西行の櫻歌のなかでも、最も世の人々の口に膾炙しているのは次にあげたようなところ。私の下手な解説を読むより、幾度も幾度も歌そのものに身を浸して戴ければ、その良さは十分おわかりになれるでしょう。西行秀歌、どうか、ご堪能ください。

●願わくは花の下にて春死なむその如月の望月の頃

私も、ここ数年、早春の登音とともに、この歌がふと心に浮かび、沁みるようになってきました。友人たちも似たようなことを言います。からだの衰えに気づく五十歳前後になれば、日本人なら誰でもこの歌のところが自然と理解できるようになるみたいです。

●春風に花を散らすと見る夢はさめても胸のさわぐなりけり

これはおそらく数多い西行の歌の中でも最高のものの一つでしょう。「散る」中にこそ櫻の美しさを見つけ、しかもそれは夢。醒めてみれば切ないほどの櫻の美しさがまた蘇る。二重にも三重にも侘びの仕掛けが施された見事な歌です。

●梢うつ雨にしをれて散る花の惜しき心を何にたとへむ

風とともに雨も花につきもの。「萎れ=しおれ」、「廃れ=すたれ」で散る花に盛りの花の美しさを透視する西行の目の確かさが鮮やかです。

●いざ今年散れど櫻を語らはむ中々さらば風や惜しむと

目にはもう写らなくなった櫻花、惜しむところを西行は次の歌に託します。

●惑ひきて悟り得べくもなかりつる心を知るは心なりけり

まさしく「時分の花」(世阿弥)を感じとり、其処にないものに美を見つけるのは「心を知る心」以外にはないのです。



富士櫻

★トピックス

【平成15年度入社式・新人研修】

- 4月1日 川崎グランドホテルにて石心会グループ入社式。各事業所から集まった106名の新入職員を代表して川崎幸病院の濱嶋芽衣さんが「誓いの言葉」を述べた。入社式に引き続き、高橋啓子先生による「接遇・マナー・コミュニケーション」に関する新人研修が行われた。

【川崎幸クリニック】

- 1～3月開催の公開講座は以下のとおり。
 - 1/31 第48回「眠れずにお困りの方へ」(臨床心理士 稲富) 参加33名
 - 2/13 第49回「花粉症とアレルギー」(内科医師 佐々木) 参加16名
 - 3/24 第50回「介護施設あれこれ」(MSW 室井) 参加29名
- 2月15日 川崎幸病院との合同で第7回うるおいコンサート開催。東海大学医学部健康科学部管弦楽団5名の方にボランティア演奏して頂いた。

【川崎幸病院】

- 1月24日 第21回院内研修会が「院内感染対策の基礎」(講師 明治製菓・萩原進一氏)をテーマに開催された。
- 3月12日 幸市民館主催の「戸手ゆうゆう教室」で『高齢期の健康管理～代表的疾病の加療と保存』をテーマに平田院長、久米主任が講演を行った。
- 4月 1日 専門医1名増(計5名)、脳血管内治療科の新設など、脳血管センターの診療体制が強化された。

【特養オリーブ】

- 1～3月、下記のとおり総合学習、体験学習を受け入れました。
 - 1/20 川越総合高校(1年生 5名)
 - 1/21～23 入間野中学校(1年生 4名)
 - 2/18～19 堀兼小学校(4年生 各日32名ずつ)
 - 3/7 狭山中央中学校(3年生 6名)
- 2月21日 昨年に引き続き、あおば幼稚園年長組の園児が卒園記念劇『桃太郎』公演に来園
- 2月17日 歯科衛生士を招き、口腔ケア勉強会を開催、ほとんどの職員が参加。
- 3月 6日 ニチイ学館のヘルパー実習研修の受け入れ。
- 3月29日 ピアノ、バイオリン、チェロのアンサンブル(演奏は東大小児科医局有志)によるミニコンサートを開催。

【狭山病院】

- 2月7日 リスクマネジメント委員会主催講演会『エラーマネジメントに於ける分析の必要性とm-SHELL分析』(講師 医真会八尾病院・小畑氏)が開催され、90名が参加。
- 2月15日 コメディカル部の第5回研究発表会が開催され、各室から11演題が発表された。参加者は約60名。
- 2月22日 本館1階生理検査室のカテ室への改装工事が着工された。
- 4月11日 『マルチスライスCT』についての開業医向け勉強会(講師 木村放射線科部長)を開催、地域から15人の開業医が参加。クリニックにて実地撮影も公開した。



海棠

《趣味探訪》

変形トリアスロン

本部人事部長 渡辺 稔

●水泳で肥満解消

満41歳を目前に控えた秋のこと、身長172cm 体重86kg、中性脂肪600という数値に驚かされた。さすがにこのままでは60歳で人生の定年を迎えてしまいかねないと思い、当時小学生だった娘を区民プールへ連れて行ったことがきっかけで、水泳を再開することにした。もともと高校時代は都立の弱小校ながら水泳部の部長を務める平泳ぎ(競泳用語ではブレストストロークといいます)の選手だったのだ。

ブランクが長かったため、最初の3ヶ月間は朝9時の開場とともにプールに行き、200～400mごとに休みを入れ、2000～2500mの距離を2時間かけて泳ぎ、帰宅後あまりの疲労に夕方まで昼寝というパターンが続いた。そのうちに泳ぐ距離もどんどん伸びてきて、50mを1分のペースで、2時間の間に4000m位を泳ぐことができるようになり、ピーク時にはコンスタントに月間30kmを泳いでいた。同時に、食事摂取カロリーを制限して減量を行ない、8ヶ月後には67kgまで体重を落とすことができ、94cmあったウエストは79cmまで減少した。当然のことながらこの年齢で激ヤセということで「渡邊癌説」が社内外に広まったことは言うまでも無い。

●自転車での遠出が病みつきに

水泳と平行して熱中したのが自転車。プールへ通うのに自転車を使っていたのだが、帰りに池袋まで(自宅は練馬区東大泉です)足を伸ばしたり、皇居や上野あたりを自転車で散策したりしているうちに、自転車の程好いスピード感が気に入り、水泳とは切り離して単独で遠出をするようになったのだ。目的地も川越から飯能・青梅と、近隣からどんどんエスカレートして秋川・江ノ島・森林公園、ついには秩父を日帰りで往復するに至った。

しかも車種はというと、内装3段変速機付とはいえ前カゴのつきたいいわゆるママチャリである。ママチャリの前カゴに少々荷物を乗せながら、スウェット姿で長瀬の岩畳を見ながら、あるいは茅ヶ崎の海岸べりのサイクリングロードを走っているオヤジが、まさか練馬から来ているとは思まい……などと一人悦に入りながら、ひたすらペダルをこいでいたのである。ママチャリは自転車を始めて半年後に、小田原からの帰りに平塚を走行中前輪がバーストしてしまったのを機に21段変速機



付の自転車に買い換えられた。以後、一昨年まで、3月～11月の間は月2回～3回自宅を起点として、往復150～200kmの範囲で旅程を立て、日帰りサイクリングに勤しんできた。

自転車の面白さは何と行っても峠道だ。急な坂道を体を軋ませながらひたすらペダルをこいでいる時は、「俺はなんで休日にこんなにつらい思いをしなくてはならないんだ」という素朴な疑問と闘っているのだが、峠まで登り詰めた時の達成感は何事にも替え難い。また、20分以上ペダルをこがずにパノラマを見ながらの下りの高速走行は爽快で、標高100mで0.6度という気温差も実感できる。秩父方面の山伏峠・正丸峠・顔振峠に代表される奥武蔵グリーンラインの各峠、奥多摩の風張峠、陣馬の和田峠、道志村に至る巖道峠等周辺の峠はほとんど制覇している。また、北海道の洞爺湖温泉にある家内の実家には現地用自転車が置いてあり、3年前には登別に至るオロフレ峠を制覇した。北海道の景色はさすがにスケールが違う。

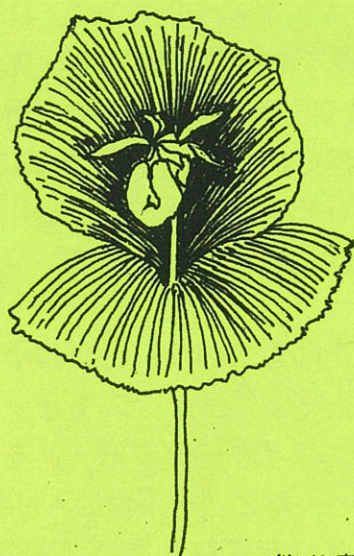
●ボウリングは老後も楽しめる(?)

さて、水泳・自転車と、さほどお金もかからず健康的な趣味を続けてきたのだが、3年前にこれらを凌駕するものに出会った。「ボウリング」である。

きっかけは行き付けのカラオケスナック(唯一家内と共通の趣味)のボウリング大会。2ヶ月に1回の開催で1年間出場したが、家内は2回優勝、私はというと1ゲーム50ピンのハンデをもらいながら3位にも入れない有様で、中山律子の全盛時代にボウリングに熱中していた身としてはプライドが許さず、1年後にボール・シューズを購入し、本格的にセンター通いを始めた。

日曜日は前述のスナックのマスターと常連客Sさんと3人で出かけていき、2レーンを確保して勝負している。ちなみにマスター71歳、Sさん64歳だが、この2人は12ゲームを投げ終わるまで絶対に帰らない。よって3人のデスマッチは4時間以上に及ぶことになる。というわけで、去年の投球ゲーム数は800ゲームを超え、今年も3月現在で250ゲームを越えているのでこのペースで投げ続けると、年間1000ゲームを超えてしまう勢いだ。

しかしながら水泳・自転車と違って10ゲーム以上投げても消費カロリーが低いとみえて体重の増加が気になる今日この頃である。そろそろ気候も良いので、水泳・自転車も復活させて趣味のバランスを修正していきたいと考えている。



熊谷草